

(2) 第2回交流会 会場：あべのハルカス 23階ハルカス大学セミナールーム

日時	令和元年12月15日(日) 13:30~16:30
テーマ	食
担当班	新田航生(和歌山) 先輩期生サポート：岡橋拓摩(大和大学、3期)
学生リーダー会 ボランティア活動紹介	○私にとっての消費者教育 ○「大阪府金融広報委員会“夏休み！親子で楽しむお金探検隊”」の活動について ○大阪府消費者フェアについて
消費者を大事にする 企業活動紹介	○『トリドールの考える価値創造』 株式会社トリドールホールディングス 大下浩平様(公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP) 会員企業)
ワークショップ「人や社会や地球にやさしい消費行動を考える」	『料理中に生じるゆで汁や廃食油に名前をつけよう！』 食べ物を廃棄することに関しては、「食品ロス」という言葉が用いられ、多くの人々に周知されるようになってきたが、料理中に生じるゆで汁や廃食油も同様に廃棄するときには配慮されるべきものであると考えられる。これらのものにも呼びやすい名前を付けて周知されやすいものにしたい。

時間	プログラム	司会/講師
13:30(5)	開会	ACAP事務局長 米村 高次(和歌山大学)
13:35(10)	活動紹介	消費者教育学生リーダー会 岡橋拓摩(和歌山大学)
13:45(15)	消費者教育学生リーダー会活動紹介 ①「大阪府金融広報委員会“夏休み！親子で楽しむお金探検隊”」の活動について	消費者教育学生リーダー会 岡橋拓摩(和歌山大学)
14:00(30)	②大阪府消費者フェアについて	消費者教育学生リーダー会 岡橋拓摩(和歌山大学)
14:00(30)	消費者を大事にする企業活動紹介 『トリドールの考える価値創造』	株式会社トリドールホールディングス 大下浩平 氏 公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)の会員企業
15:00(15)	休憩	
15:00(15)	第2部 ワークショップ・交流会	ファシリテーター:新田航生
15:15(30)	ワークショップ「人や社会や地球にやさしい消費行動を考える」 ○料理中に生じるゆで汁や廃食油に名前をつけよう！	グループディスカッション企業10学生
16:15(10)	まとめ	消費者教育学生リーダー会 新田航生
16:25(5)	閉会式 アンケート記入	消費者教育学生リーダー会 新田航生

<参加者数>

種類	参加者数	備考
学生	27名	学生リーダー会3、和歌山大学講座受講生24
企業	15名	斎木総合研究所、イカリ消毒株式会社、ハウス食品株式会社、雪印メグミルク株式会社、小林製薬株式会社、大阪ガス株式会社、タビオ株式会社、トリドールホールディングス株式会社2、パナソニック株式会社2、NACS4
大学	5名	和歌山大学3、帝塚山学院大学1、大学コンソーシアム大阪1
その他	2名	事務局2
合計	49名	

<第2回交流会の様子>

1. 開会式

司会 岡橋拓摩

初めに、司会より資料の確認、注意事項の説明を行った。

開会の挨拶

AICE 戦略会議委員 木村亮介 様

続いて、AICE 戦略会議委員の木村亮介様より開会の挨拶を行って頂いた。



2. 私にとっての消費者教育

発表 岡橋拓摩

リーダー会への入会前と入会後における意識の変化について、またリーダー会での活動で得た経験について振り返った。そして参加者に、「一人ひとりとの出会いを大切にしながら、消費者教育の重要性を広めていくこと」が必要であると主張した。



### 3. 消費者教育学生リーダー会活動紹介

#### ①「大阪府金融広報委員会主催 夏休み！

親子で楽しむお金探検隊」での活動

発表 浦谷拓弥

2019年8月8日に日本銀行大阪支店で行われた大阪府金融広報委員会主催「夏休み！親子で楽しむお金探検隊」での活動について報告を行った。当日は、「おこづかいについて考えよう！」と題して、

子どもチームと大人チームに分かれてグループワークを行った。その場でリーダー会のメンバーがファシリテーターとして参加し、子どもにはおこづかいを大切に使うことの意味を、大人の方には親としておこづかいを渡す際の気持ちを共有できた活動であった。



#### ②大阪府消費者フェアでの活動

発表 和田佳寿也

2019年11月2日に咲洲庁舎で行われた、大阪府消費者フェアでの活動について報告を行った。消費者フェアの当日は、『あなたはそのとき、どうする？ゲーム！』と題して、番号の付いたジェンガを引いて、その番号に対応する消費者クイズを出すというブースを出店した。回答に応じて、「しっかりエコタイプ」「ちゃっかりエコもう一息タイプ」「おっちょこちょいマイペースタイプ」の欄にシールを貼って頂き、参加賞としてメダルと景品の贈呈を行った。参加者並びブース運営に携わったリーダー会のメンバーが楽しみながら参加することができ、参加者の方により良い消費行動の重要性について知って頂くことができた活動であった。



### 4. 消費者を大事にする企業活動紹介

『トリドールの考える価値創造』

株式会社トリドールホールディングス

CSR推進室長 大下浩平 様

株式会社トリドールホールディングスは、外食産業の中核を担い、「丸亀製麺」や「豚屋とん一」をはじめ、国内外で約1705店舗を展開している企業である。今回は、『トリドールの考える価値創造』と題し、トリドール株式会社が行う社会貢献活動について、また価値創造における考えについて講演を頂いた。近年、国内では地球温暖化や貧困、食品ロス等の問題に直面している。その中で、国内では子ども食堂やキッチンカーの運営、店内における生ごみ処理機の活用や省エネゆで釜の開発を通し、また国外では学校の創立や「食」のビジ



ネススクールの開講を通し社会貢献事業に携わっている、というお話があった。また、価値創造の実現に向けて、自らの仕事を生かすこと・すぐにやること・成果を実感できることを重視し、トリドールに関わる全ての人に「感謝」の気持ちで取り組んでいる、というお話もあった。

## 5. ワークショップ・交流会

ファシリテータ 岡橋拓摩

グループディスカッション 企業×学生

今回のワークショップでは、『食品ロスと調理で発生する廃棄するものについて考え、料理中に生じるゆで汁や廃食油に名前をつける』というテーマについて、企業と学生がグループディスカッションを通して意見交換を行い、まとめた内容を発表した。



ワークショップでは企業の方+学生のグループを6つ作り、グループディスカッションを行った。

## 6. まとめ

現在、国内で進行する食品ロスや地球温暖化、さらには少子高齢化や核家族化を初めとする社会問題に対して、「消費者」の立場から正面に向き合うこと、また、周りの人と情報共有しながら、解決策を模索していくことが重要であるとまとめた。

